

# あき 秋をみつけよう

## あきのおさんぽいいものいくつ? (E オ)



おたぐろ まり／さく 福音館書店  
さんぽに行くとき、いろいろなものが見つかりますね。絵のなかにある、あきの「いいもの」を見つけてみましょう。ページをめくるたびに、あきの「いいもの」がひとつずつふえていきます。ぜんぶ見つけられるかな?

## リスのエビフライ探検帳 (E イ)

飯田 猛／著 技術評論社

森のなかにエビフライみたいな木の葉のおちていることがあるそうです。じつは、エビフライをつくったのはリスのしわざ。リスがまつぼっくりをかじって、なかに入っているタネを食べると、エビフライみたいなかたちになるそうです。とってもおもしろい見た目なので、ぜひ絵本でたしかめてくださいね。

## ドングリさがして (E フ)

ドン・フリーマン／作

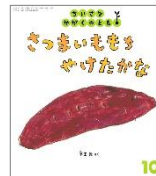
ロイ・フリーマン／作

やました はるお／訳 BL出版



アメリカのワシントンにすんでいるリスのアールは、おなかをすかせた子どもたちのために、なつにかくしておいたドングリをさがしにでかけました。ところが、大きなドングリをうめておいたばしょが悪い出せません。アールはにぎやかなワシントンの町を駆けめぐりますが…。

## さつまいももち やけたかな



(ちいさなながくのとも 271号)

平田 景／さく 福音館書店

秋のやさしいといえば、さつまいも。

ゆでたさつまいもにかたくりこをまぜてやくと、さつまいももちができるそうですよ。みなさんもぜひおうちで作ってみてくださいね。

## おち葉 (653 七)

平山 和子／文と絵

平山 英三／構成と写真 福音館書店



作者が家のちかくの林で見つけたおち葉

たちをスケッチした1冊。おち葉はどれもにているようで同じものはありません。1枚1枚をよくかんさつしてみると、とってもきれいで、それぞれにちがったとくちょうがあることがわかりますよ。

## どんぐり (E キ)

エドワード・ギブス／作, 谷川 俊太郎／訳

光村教育図書

おいしそうなどんぐりが、木からじめんにおちました。それを見つけたねずみはどんぐりをたべようとしますが、どんぐりは「おねがい いまは たべないで いまに もっとおいしくなるから」といいました。それからつぎとどうぶつたちがやってきますが、どんぐりは同じことを言うばかり。やがてどんぐりはめをだして…。くり返しがおもしろい絵本です。

## びっくりまつぼっくり (E ホ)

多田 多恵子／ぶん, 堀川 理万子／え  
福音館書店



まつぼっくりは、あめにぬれると小さくなってしょんぼりまつぼっくり。はれたらかさがひらいてはりきりまつぼっくりになります。これを利用して、おもしろいびんづめまつぼっくりを作ってみましょう。

## おちばであそぼう (653 オ)

ひさかたチャイルド

おちばをたくさんひろったら、いろいろなあそびができます。おちばのじゃんけん、おちばのかけえに、おちばのかめん…。ほかにどんなあそびができるかな? こうえんや山に行ったら、ぜひおちばをつかってあそんでみてくださいね。



## の野ばらの村の秋の実り (E バ)

ジル・バークレム／作・絵

こみや ゆう／訳 出版ワークス

の野ばらの村にすむねずみたちは、秋をむか

えて木の葉のとりいれにたいそうがし。ところが、ブラックベリーをつんでいるとき、マイペースなプリムローズがまいごになってしまいます。ぶじ、家にかえることができるのでしょうか…。ねずみたちのくらしがりがていねいにえがかれていて、うつくしい絵がすてきな1冊です。

